

## 背景と論点

近年、大学において著しい変化が見られる空間のひとつが図書館です。名古屋大学でも、ラーニング・コモンズが設けられたりカフェができたりするなど、中央図書館が大きく様変わりしました。巨大な書庫のように思われがちですが、実際にはそれ以外にも様々な機能を持った複合的施設であることを学生に伝えましょう。

大学での学びにおいては、必要な情報を入手する手段を的確に理解しておくことが必要です。しかし、大学に入学したばかりの学生にとって、適切な情報を入手することは困難です。学年が上がって以降も、より複雑になっていく学習内容とそれに応じた資料の検索・入手は大きな課題です。

また、グループ活動の相談やプレゼンテーション用資料の作成など、課外学習の場としての図書館の機能も高まっています。学生の学びを促すために、図書館へと積極的に送りだしてはいかがでしょうか。

## 実践の手法

### 1. 名古屋大学の図書館で提供されるサービス内容を知る

- ・ 中央図書館と学部図書館の違いを把握する
- ・ 貸し出し方法や冊数、期間を知る
- ・ 他学部の図書館の利用方法を知る
- ・ 収蔵されていない書籍・論文の取り寄せ方を知る
- ・ 希望図書を購入方法を知る
- ・ 電子ジャーナルの使い方を知る
- ・ 文献検索指導の実施状況を知る
- ・ 書籍・学術雑誌以外の収蔵物を知る
- ・ パスファインダー (\*1) を入手する
- ・ パスファインダー作成の依頼方法を知る
- ・ 総合サービスカウンターで受けられるサービス内容を知る

#### \*1 パスファインダー

ある特定のトピックに関する情報を系統的に探索する手段をまとめた情報検索ツール。百科事典や図書、雑誌、年鑑などの情報ソース、検索キーワードとデータベース、図書館の連絡先などが記載されている。

### 2. 図書館で行われている講演会や講習会を知る

- ・ 新入生のためのガイダンスはいつ、どのように行われるか
- ・ 留学生対象ガイダンスの内容はどのようなものか
- ・ 様々な講習会はいつ行われるか
- ・ レポートの書き方やプレゼンテーションなどの講座はいつ行われるか
- ・ TA 支援のためのセミナーはいつ行われるか
- ・ オーダーメイド講習会はどのように依頼すればよいか
- ・ 常設展・特別展の内容はどのようなものか

### 3. パスファインダーを授業で活かす

- ・ 学生に見られる文献検索に関する課題について図書館職員と話し合う
- ・ 担当授業のコンセプトについて図書館職員に説明する
- ・ これまでに用いた参考文献について伝える
- ・ 鍵となるトピックについて、パスファインダー作成を依頼する
- ・ パスファインダーに基づき、文献検索を行うよう学生に指示する
- ・ 文献検索を必要とする課題を出す

### 4. 図書館利用を必要とする課題を出す

- ・ 必読文献を指定する
- ・ 指定文献について内容をまとめさせる
- ・ レポートに参考文献を示すことを求める
- ・ レポート内での引用を必須とする
- ・ 課外の話し合いを必要とするグループ活動を授業に取り入れる
- ・ ライティング・サポート・デスクの利用を必須とする
- ・ 「レポートの書き方講座」への参加を指示する

### 5. 図書館職員と協働でレポートの書き方を指導する

- ・ 図書館の収蔵資料の特徴を学生に理解させる
- ・ 過去の卒業論文・修士論文・博士論文を読むよう指示する
- ・ レポート作成に必要な資料を推測させる
- ・ webcat plus などの利用方法について図書館職員から指導を受けさせる
- ・ cinii などの利用方法について図書館職員から指導を受けさせる
- ・ 実際に指定の文献や論文を検索させる
- ・ 剽窃の問題について指導を受けさせる
- ・ 引用に関する規則を習得させる

### 6. ラーニング・コモンズ(\*2)で授業を行う

- ・ グループラーニングエリアで話し合いをさせる
- ・ 多目的ラーニングエリアで資料作成をさせる
- ・ グループラーニングエリアでプレゼンテーションの練習をさせる
- ・ セミナールームでゼミを行う
- ・ AV エリアで視聴覚資料を見させる

#### \*2 ラーニング・コモンズ

学生の学習活動への積極的支援を目指して、主として図書館内につくられる共有空間。従来からある文献検索などの機能のほか、ゼミやグループでの話し合い、プレゼンテーションなどさまざまな活動を可能にする場が設けられている。お茶の水女子大学附属図書館や大阪大学附属図書館、東京女子大学図書館など、近年設置する大学が増えている。

参考文献：井上真琴（2004）『図書館に訊け！』ちくま新書

山内祐平編著（2010）『学びの空間が大学を変える』ポイックス株式会社

作成者：伊藤奈賀子（名古屋大学高等教育研究センター）

作成日：2011年1月31日

URL：http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/guide/